

## 令和7年度 1学期終業式式辞

今日で1学期が終わり、夏季休業に入ります。1学期は各クラブの総体などの公式戦や、青志祭・ドルーイン校の来校などの大きな行事がありましたが、皆さんは様々な場面で自分の力を発揮することができたでしょうか。

皆さんには、6月に「三木北高校でどのような力をつけるか」というアンケートに実施しました。どのような内容だったか覚えていますか。また、その後自分で意識して過ごすことはできているでしょうか。

なぜ、他でもない“三木北高校”でつけてほしい力について、皆さんに意識して欲しいのか、少しお話をします。

今年度で三木北高校は残り2年間となりました。皆さんのあとに続く後輩はいません。そのような中で皆さんは三木北高校での学校生活で「三木北らしさ」を身につけることが出来る最後の人材だと思っています。

昨年度は先生方に、生徒が自分で考え、行動するような取組を授業や学校生活でお願いしてきましたが、年度の途中に先生方の中から、皆さんにつけて欲しい力について考えようという動きが起きました。私は、日々忙しい仕事の合間を見つけて、先生方がこのような気持ちをもって取り組んで下さったことは、とても素晴らしいことだと思っています。

今回のアンケートは、日頃、皆さんを間近で支えてくれている先生方が、校訓「立志・自学・自律・共生」を学校生活の様々な場面に落とし込んで考えて下さったものが元になっていて、皆さんにこのように成長してほしいという私たちの目標や願いでもあるのです。

皆さんも先日、校訓に照らし、自分がどのような力をつけたいのかということについてワークシートを使って考えましたね。校訓の言葉は難しいと感じますが、具体的にどのような取組をすれば、それぞれ校訓が目指す力をつけられるのかということを真剣に考える時間になったのではないのでしょうか。

アンケートに答えるだけでなくワークシートに取り組むことで、先生からの思いが一方通行にならず、皆さんが自分のこととして、今後の三木北高校でどのように具体的に頑張るのかを考えて欲しかったのです。

明日からの夏季休業中に、6月のアンケートや7月のワークシートを必ず振り返ってみて下さい。予測不能と言われる社会で、「自分で考えて行動する」姿勢が「生きる力」を養います。自分は、どの力が足りないのか、三木北高校でどのように伸ばしていくのかについてじっくりと考え、行動に移しましょう。

例年より早く梅雨が明け、暑い日が続いています。くれぐれも夏休み中の健康には気をつけて、2学期にはさらに高い志をもって、ここに集うことが出来るよう頑張ってください。

令和7年7月18日 兵庫県立三木北高等学校 校長 吉田 真治